

☆ 春の摘み菜の観察会を行いました（5月12日） ☆

今年で3回目、数年ぶりに開催した春の摘み菜の観察会。食べられる植物を探しながら、自然観察園の里山を散策しました。

気持ちのよい春のお天気に、里山にはハルゼミの声が響きます。ハルゼミは松ぜみとも呼ばれるマツ林にすむセミ。まだアカマツの残っているせら夢公園は、ハルゼミの貴重な観察ポイントです。当日も、コシアブラの葉の裏にとまったぬけがらを見つけました。

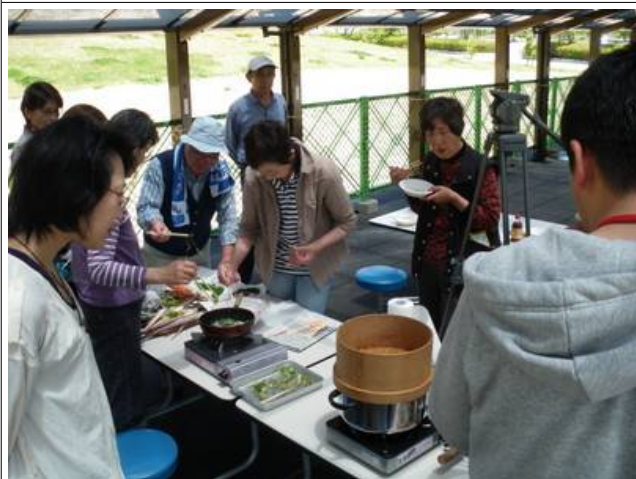
散策後は管理センターに戻って、野草を天ぷらで試食したり、よもぎだんごをつくって春の味を楽しみました。



コシアブラの葉の裏側にはハルゼミのぬけがら



タケノコがのびてきています！



天ぷらで試食のようす



よもぎだんごづくりのようす

<当日観察した食べられる植物（12種）>

コシアブラ、タカノツメ、モウソウチク、サルトリイバラ、カラスノエンドウ、シロツメクサ、ヨモギ、リョウブ、ヒメジョオン、タンポポ、イタドリ、ワラビ